

2 スポーツの推進

市民だれもがスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進するとともに、指導者育成や地域活性化の取り組みを推進する。丹波篠山総合スポーツセンター及び西紀運動公園等、スポーツ環境の整備・充実に取り組む。

3 歴史文化遺産の学びと継承

歴史文化を活かしたまちづくりをさらに推進するため、史跡篠山城跡・史跡八上城跡の環境整備の実施や活用に努めるとともに、重要伝統的建造物群保存地区における町並みの保存と活用を図っていく。引き続き、伝統芸能である能楽の振興を目的に「篠山春日能」を開催する。

4 文化・芸術の振興

篠山城大書院、歴史美術館、青山歴史村、武家屋敷安間家史料館の特性を生かし、歴史文化を発信する施設として活用を促進する。丹波篠山市展は、出品者や来場者を増やし満足度が高まる取り組みを進める。田園交響ホールは、文化芸術発展の礎となり、市民の文化芸術活動を支援し、文化力の向上を促進していくことを目的に、「感動」、「創造」、「交流」を軸とした夢のある事業を行う。

5 自然遺産に学ぶ教育の充実

地域資源の一つである篠山層群を活用し、学校教育・社会教育との連携を行い、学習機会の提供・充実を図る。地域素材を生かした自然・社会体験、観察・調査、ものづくり等の体験活動をより多くの授業に取り入れることで、学ぶ意欲や喜びを育む。

施策の基本方向5 郷土を愛し担う人材育成の推進**1 ふるさと丹波篠山を愛する心の育成**

子どもたちがふるさとを愛し、誇りを持てるよう、学校・家庭・地域が一体となったふるさと教育を通して、子どもたちが主体的に課題を発見し、解決する力を育む。公民館が実施する各種の講座について、歴史、文化、自然、食など様々な分野に関する多様な学びの機会を創出し、郷土への興味関心を醸成するとともに、ふるさとへの愛着や誇りを育む。

2 学校給食の充実と食育の推進

献立の充実を図り、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、学校・家庭・地域と連携して「生きた教材」である学校給食を活用した食育推進に継続的に取り組む。「農都のめぐみ米」や地元野菜、地元食材の活用により、地元でとれる食材への関心を高め、郷土の食文化への誇りを育むとともに、地域の農業の活性化及び伝統的な食文化の継承に繋げる。

第4期

丹波篠山きらめき教育プラン

(丹波篠山市教育振興基本計画)

計画期間：令和7～11年度

**▼ 基本理念**

一人一人が光り輝き、幸せに生きる

～子どもが自ら学ぶ、地域とともにある学校づくり～
～学びの機会の充実と、生きがいを感じるまちづくり～

第4期 丹波篠山きらめき教育プラン（丹波篠山市教育振興基本計画）

発行 丹波篠山市教育委員会

問い合わせ 丹波篠山市教育委員会事務局教育総務課 TEL 079-552-5709

施策の基本方向1 子どもの根っこを育てる保育・教育の推進

1 ふた葉プロジェクトの推進

「朝日とともに目覚め、四季を感じながら 夢中になって遊ぶ ささやまつ子」をめざす子どもの姿とし、「眠育」、「食育」、「遊び」に着目し、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みを引き続き行っていく。

2 乳幼児教育の充実

本市の豊かな自然環境を最大限に活用するとともに、五感（触覚・視覚・聴覚・嗅覚・味覚）を使った体験的な保育・教育を推進することで、子どもたちの探究心や創造性、感性を育む。

3 子ども・子育て支援の体制づくり

子どもや子育て中の人気が兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、すべての人が子どもや子育て中の人を応援する社会「こどもまんなか社会」の実現に向け取り組む。

施策の基本方向2 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

1 確かな学力の育成

課題発見・解決の過程で思考力、判断力、表現力を養い、主体的に学ぶ意欲を育てるため、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業改善を推進する。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。本市で進めてきた少人数を生かした教育や異学年活動、ICT環境、ふるさとの豊かな自然や教育資源を活用した教育を推進し、子どもたちの個性や能力、可能性を最大限に伸長する。

2 豊かな心の育成

学級活動や児童会・生徒会活動、学校行事等の集団活動を通して、主体的に考え、課題を解決しようとする実践的な態度とともに、多様性を重んじ他者を思いやる心を育む。いじめや不登校について、いじめを許さず、一人一人の個性や良さが認められ、多様な学び方や場が確保された安全・安心で魅力ある学級・学校づくりを推進する。

3 健やかな体の育成

児童生徒の体力・運動能力向上を図るとともに、継続的に運動・スポーツに親しむ習慣や意欲を養う。部活動については、持続可能な部活動の運営にするために、本市の実情に合わせて、部活動運営を「学校主体」から「地域主体」へ展開していく。

4 社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成

子どもたち一人一人が自己実現を果たし、社会において充実して生きられるように、社会的・職業的自立の基盤となる「基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）」を育成する。

5 特別支援教育の充実

障がいのある子どもとない子どもが可能な限りともに過ごせる環境整備と、一人一人の教育的ニ

ズに応じた学びの場の整備をもとにインクルーシブ教育システムを推進する。また、障がいのある子どもたちが、就学前から在学中、卒業後も切れ目なく一貫した支援を受けられるよう教育、家庭、保健、福祉、医療、労働、地域住民等との連携により相談・支援体制の充実を図る。

施策の基本方向3 子どもたちが自分らしく安心して過ごせる環境づくりの推進

1 安全・安心で質の高い学習環境の整備

子どもたちが安心して学校生活を送るため、学校園だけでなく、家庭や地域、関係機関と連携して、日常における子どもたちの安全・安心の確保を図っていく。

2 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進

障がいや不登校をはじめ外国にルーツのある子どもたちや、特異な才能、福祉的な事情により多様な教育ニーズの必要な子どもたちに対して、社会的自立を見据えて、社会的包摂の観点から「個別最適な学び」の機会を確保していく。また、多様性を前提として互いに高め合う「協働的な学び」の機会を確保し、一人一人の能力や個性を最大限に伸ばす教育を実現していく。

3 地域とともにある学校園づくり

学校運営協議会委員が「熟議」を通じて、学校園・家庭・地域が方向性を共有して当事者意識の高揚を図り、未来の丹波篠山を担う子どもたちの育成をより一層推進する。

4 家庭・地域との協働による豊かな学びの推進

家庭・学校園・地域が一体となり次世代を担う子どもたちの健全育成とともに考える機会や、安心して子育てができる環境づくりに向けた情報交換・仲間づくりの機会を提供する。

5 関係機関等との連携の強化

子どもたちの抱える困難や課題が複雑化・多様化している中、学校園外の多様な支援体制や関係機関との連携と、社会的自立に向けた効果的な対応をめざす。

6 教職員の資質能力の向上

働き方改革においては、校園長のリーダーシップのもと、多様な専門性を持つ外部人材や専門スタッフとの協働を促進し、教職員の能力を最大限に生かす組織体制を構築する。

7 保幼小中高大の連携

学びと育ちの連続性を重視し、異校種間の相互理解を深め、系統的な指導計画を作成する。進級・進学時には、学校園間で情報交換や連絡会を行い、学びの円滑な接続を図る。

施策の基本方向4 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

1 主体的に生きるための学びと場の充実

多様な公民館活動を展開するとともに、社会教育施設の利用促進を図ることにより、市民活動の活性化や地域住民の交流の場の創出を推進する。